

# 「地域密着型金融推進への取組み」の状況

【平成19年度】

平成20年5月

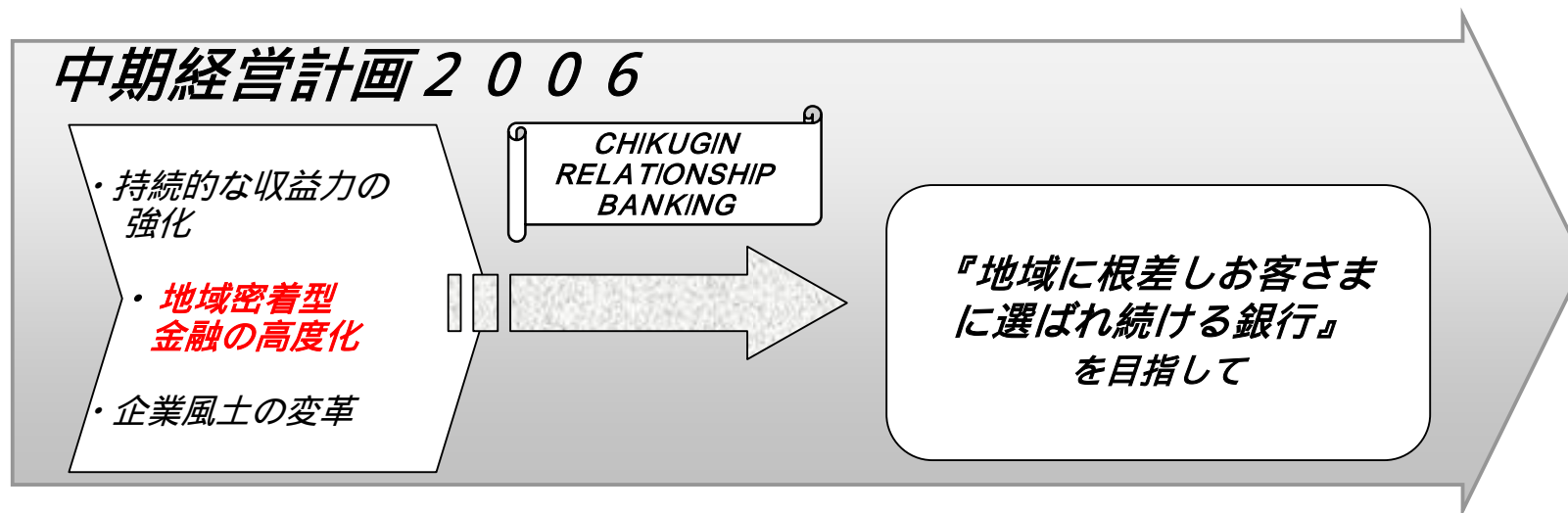
筑邦銀行

## 1. 地域密着型金融推進の基本的な方針

当行は『地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行』を目指し、これまで4年間にわたり「リレーションシップバンキング機能強化計画（平成15～16年度）」、「地域密着型金融推進計画（平成17～18年度）」を策定し、主に「事業再生・中小企業金融の円滑化」「経営力の強化」、「地域のお客さまの利便性の向上」に係る諸施策を実施してまいりました。各施策は計画通りに進捗し、それぞれが着実に成果として結実しています。

このような地域密着型金融への取組みは、当行にとって恒久的な課題として捉えており、18年4月からスタートさせた中期経営計画におきましても、その精神や考え方を取り入れた「持続的な収益力の強化」「地域密着型金融の高度化」「企業風土の変革」の3つの取組みを基本方針としております。

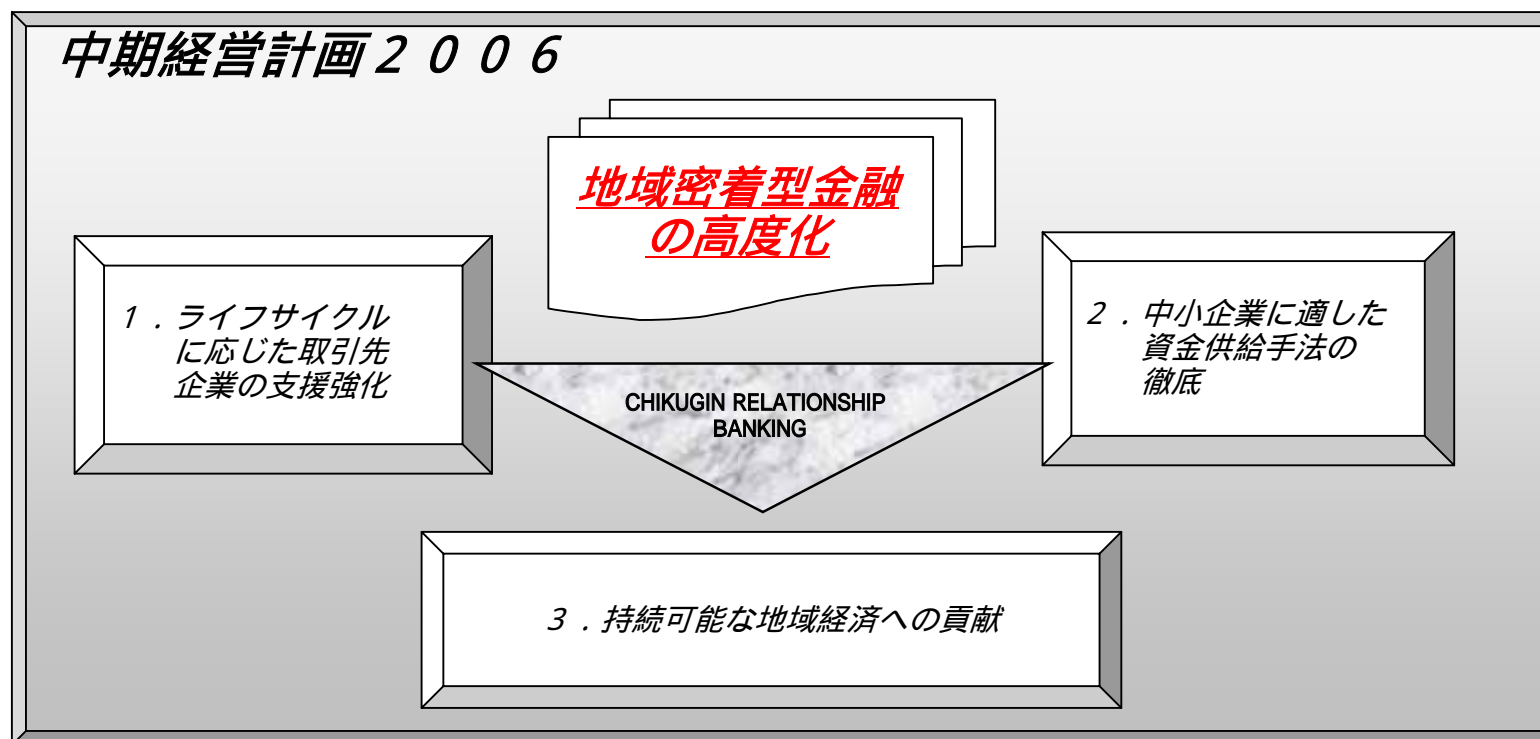
当行におきましては、この基本方針に基づき、より一層地域金融の円滑化を図り、地域社会・地域経済の発展に貢献する取組みを行ってまいります。



## 2 . 地域密着型金融推進の3つの重点分野

地域密着型金融の本質は、お客さまとの長期的な取引関係、質の高いコミュニケーションを通して、お客さまを良く知り、金融仲介機能の強化を図るとともに、お客さまと当行の相互の理解・信頼関係を高め、それぞれが健全性・収益性を向上させていくことにあります。

当行ではその実現のため、中期経営計画で掲げている諸施策の中から、以下の3つの分野を重点分野とし、地域密着型金融の取組みを進めてまいります。



## 3 . 地域密着型金融推進の基本的考え方

### ( 1 ) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

お取引先の、創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生、事業承継といったライフサイクルに応じた各段階でのきめ細かい支援は、地域密着型金融に不可欠の要素です。中小企業の成長段階にあわせた審査機能を強化し、各種手法の活用等を通じてお取引先企業の支援に取組み、地域の金融円滑化の期待に応えていきます。

### ( 2 ) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

お取引先の事業価値を重視した融資を行うため、「目利き能力」の向上を図るとともに、担保や保証に過度に依存しない融資を推進することで、中小企業に対して積極的に資金供給を行っていきます。

また、様々な制度融資や動産担保融資等の活用等、多様な手法を用いて資金供給の徹底を図ります。

### ( 3 ) 持続可能な地域経済への貢献

資金供給者としての役割に留まらず、ネットワークを通じた地域内外の専門家や専門機関との連携、外部資源を活用した、地域経済活性化への積極的支援、官民が連携した取組みへの積極参画等により、地域での積極的な役割を果たしていきます。

## 4. 地域密着型金融推進の具体的取組状況（19年度）

### （1）ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

お取引先の、創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生、事業承継といったライフサイクルに応じた各段階でのきめ細かい支援は、地域密着型金融に不可欠の要素です。中小企業の成長段階にあわせた審査機能を強化し、各種手法の活用等を通じてお取引先企業の支援に取り組みました。19年度の主な取組みは以下の通りです。

#### 創業・新事業支援への取組み

久留米市を中心とした筑後地域のバイオベンチャー企業を育成・支援するため、「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」を創設（19年11月）し、年に一度久留米・鳥栖地域産学官テクノ交流会において表彰を行なっております。

19年度は久留米市のバイオエタノール製造技術企業1社の表彰を行いました。

当行は、福岡県と久留米市が連携して久留米リサーチパークを拠点に「福岡バイオバレープロジェクト」を推進していることから、地域産業の活性化に貢献するため、バイオベンチャー企業の育成に取り組んでいます。

#### 経営改善支援・事業再生支援への取組み

営業推進部内に専門スタッフを配置し、中小企業再生支援協議会との連携や全国初の取組みとなった（社）中小企業診断協会福岡県支部との業務提携を通じ、専門家と連携した地域企業の経営改善支援や事業再生支援に取り組んでいます。19年度は49社の経営改善支援・事業再生支援に取り組んだ結果、5社がランクアップしました。

（19年度実績）

経営改善支援取組み率( 1)	0.59%
ランクアップ率( 2)	10.20%

（ 1 ）正常先を含む全取引先(個人事業主を含む)のなかで、経営改善支援取組み先として選定した比率です。

（ 2 ）経営改善支援取組み先のうち20年3月末の債務者区分が19年4月に比べランクアップした比率です。

#### 事業承継支援への取組み

独立行政法人中小企業基盤整備機構の「がんばれ！中小企業ファンド（事業承継ファンド）」のプログラムを活用した九州初のファンド「九州ブリッジファンド」への出資を行いました。

当ファンドは支援先の経営実態に即した資金供給と踏み込んだ経営支援により、後継者不在等の問題解決や、中小企業の経営の向上に繋がる新たな事業展開を支援することで、円滑な事業承継を実現するファンドであります。

19年度は福岡県大牟田市の太陽電池モジュール製造会社に出資を行い、全国的にも稀な中小企業のEBO（従業員による企業買収）を実現させ、地元従業員の雇用確保、地域経済の活性化に貢献しました。

## (2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

お取引先の事業価値を重視した融資を行うため、「目利き能力」の向上を図るとともに担保や保証に過度に依存しない融資を推進することで、中小企業に対して積極的に資金供給を行いました。また様々な制度融資や売掛債権担保融資等により資金供給の徹底を図りました。

19年度の主な取組みは以下の通りです。

### 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

➤ 「ちくぎんアグリビジネスローン」の取扱を開始しました。

当行を窓口として、一定の要件を満たす認定農業者を対象に、当行と農林漁業金融公庫が協調して「農業経営に必要な事業資金」を最大1000万円まで融資するものです。

農林漁業金融公庫の制度資金であるスーパークイック融資の特徴である「長期・低利・無担保無保証」を活かした提携商品であり、20年2月より取扱を開始しました。

➤ 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組みを継続実施しました。

(19年度取扱実績) (単位：件数、百万円)

商品名	件数	金額
ちくぎんサポートローン	370	3,370
ちくぎんクイックローン	62	433
ちくぎんビジネスローン( )	15	206
元気ふくおか資金( )	271	4,303
がんばる企業保証制度( )	35	859

( )保証協会付

### 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

➤ 「金融ホームドクター認定制度」を行内で拡充しています。

各行員が取得した公的資格や検定試験の合格状況により4段階の金融ホームドクター認定制度を12年度より設け、行員の能力開発、自己啓発の醸成に努めています。

公的資格の中には税理士や中小企業診断士が含まれ、また検定試験ではFP技能(中小企業主)など中小企業に対する「目利き能力」の向上に繋がる検定試験を対象としています。

➤ 「農業経営アドバイザー」( )試験で2名の合格者を出すなど、農業経営に関するコンサルティング機能の強化に取り組んでいます。

( )平成17年度に農林漁業金融公庫が農業経営支援を行なう人材を育成することを目的に創設した制度。

➤ 行外研修の活用による人材育成を継続して実施しました。

行外研修への派遣により企業価値の評価手法の取得や専門性の高い業務へのスキルアップに努めました。

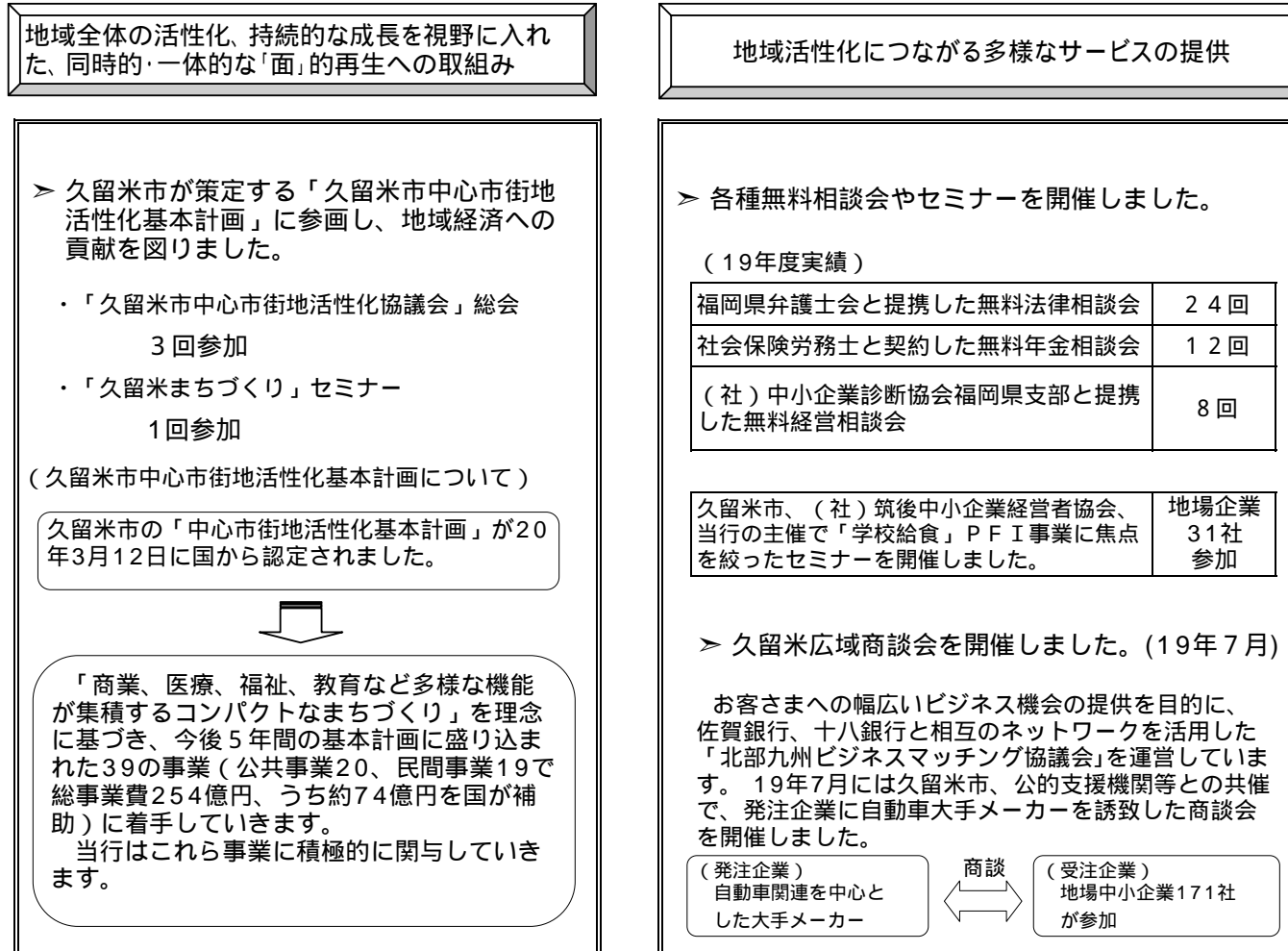
(19年度実績)

企業取引研究コース	13名
事業承継支援実践コース	1名
農業経営アドバイザー研修	1名
業務協力シンポジウム及び農業融資研修	2名

### (3) 持続可能な地域経済への貢献

資金供給者としての役割に留まらず、ネットワークを通じた地域内外の専門家や専門機関との連携、外部資源を活用した、地域経済活性化への積極的支援、官民が連携した取組みへの積極参画等により、地域での積極的な役割を果たしました。

19年度の主な取組みは以下の通りです。



## 5 . 地域密着型金融取組みの情報開示について

当行では、地域密着型金融の機能強化に一層積極的に取組み、中小企業事業金融の分野において様々な顧客ニーズに応えうる、真のパートナーとして信頼される銀行を目指してまいります。

今後の取組み状況や実績につきましては、ホームページやディスクロージャー誌・ミニディスクロージャー誌などを通じて、地域の皆さまに幅広く、分かりやすくお知らせしていく方針です。